

## 横浜国際プール利活用検討に伴うサウンディング調査（対話）（2回目）実施結果

### 1 経過

令和5年7月28日（金）	対話実施の公表
7月28日（金）から8月21日（月）まで	対話実施事業者募集
8月9日（水）	現地見学会・事前説明会
8月22日（火）から9月13日（水）まで	対話の実施

### 2 対話参加者数

8者

### 3 主な対話の内容

- ・メインアリーナの床転換有無の方向性及び施設の魅力向上につながる運営やサービスの提案
- ・サブプールの改修及び施設の魅力向上につながる運営やサービスの提案
- ・敷地全体に対する提案
- ・最寄り駅である北山田駅を含めた周辺エリアに関する提案 など

### 4 結果概要

項目	主な提案概要	
メインアリーナの床転換有無の方向性及び施設の魅力向上につながる運営やサービスの提案	床転換なしの 通年スポーツ フロア化 (3者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床転換に要していた約2か月間分を利用日として拡大することができるため、利用機会の拡大が見込めるほか、収入増が期待できる</li> <li>・床転換に要していた費用、プール稼働に伴う光熱水費、プール関連設備費用等の維持管理費の削減が可能</li> <li>・プロスポーツのレギュレーションに対応した改修を行うことで、様々なプロスポーツの興行利用による安定的な稼働及び、街のにぎわい創出が期待できる</li> <li>・参加型のスポーツイベントやMICE、研修会、騒音に配慮した興行の実施が期待できる</li> <li>・団体への貸出について、全面だけでなく区画ごとに貸し出すことで、予約が集中する時間帯における市民のニーズに応えることが可能</li> <li>・バリアフリーを進めることで、誰もがスポーツを楽しめる施設とするほか、多様なスポーツ種目に合わせた規格を用意し、市民のスポーツニーズに合わせたサービス提供が可能</li> <li>・横浜ビー・コルセアーズのホームとして、バスケの聖地としてのイメージを創出し、魅力向上につながる</li> </ul>
	床転換なしの 通年スポーツ フロア化もしくは 通年プール化 (1者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床転換にかかる年間約2か月の休館期間中は利用料金収入なし。一方で各設備機器の維持管理やオープンに向けての各設備機器設定の変更等維持管理に伴う人件費や点検費は発生</li> <li>・用途が統一される場合、改修のタイミングで設備機器を集約化することで、点検や修繕及び水光熱費の低減に繋がる</li> <li>・いずれかに一本化する場合、光熱水費や維持管理費の面からスポーツフロア化の方がより望ましい</li> </ul>
	床転換を継続 (1者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で具体的な費用削減策はなく、引続き模索</li> <li>・床転換によりプール、アリーナ双方の利用を継続することで、大型プール施設特有の季節による収益増減というマイナス面をカバー</li> <li>・プールの冬場の稼働率を考えると、常時50mプール2面は費用対効果が悪い</li> </ul>

<p>サブプールの改修及び施設の魅力向上につながる運営やサービスの提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席の増設及び諸室等の改修により、現在サブプールで行われている大会の規模拡大が図れる</li> <li>・換気部分の改修、老朽化が目立つ更衣室ロッカーの更新により、快適な利用環境を提供</li> <li>・プールサイドのノンスリップ化対策</li> <li>・観覧席の増席及び一部床面改修、バリアフリー化推進</li> </ul>
<p>敷地全体に対する提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しむことのできる大型遊具等の設置（3者）</li> <li>・施設の独特の形状を活かした施設のシンボルとなるような特徴的かつ個性的な遊具等の設置</li> <li>・『地域における子育て支援の場や機会の充実』としての大型遊具の設置</li> <li>・市内のみならず市外からの集客と交流がもてるシンボルランドマークとしての遊具の設置</li> <li>・斜面を活かしたオンリーワンの遊具の設置</li> <li>・アスレチック等の設置</li> <li>・喫茶、飲食ができるスペースとして、カフェ・レストランの設置（3者）</li> <li>・円形広場、芝生広場等を活用したスポーツ等のイベント実施</li> <li>・屋外へのバスケットボールコート等の設置</li> <li>・イベント時を中心に屋外へのキッチンカーの誘致（2者）</li> <li>・混雑時の交通整理のため駐車場の事前予約制やダイナミックプライシング</li> </ul>
<p>最寄り駅である北山田駅を含めた周辺エリアに関する提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北山田自治会町内会、北山田商業振興会、センター北商業振興会や近隣の商業施設・マンション等と連携したイベントの実施</li> <li>・二次交通としてのカーシェア活用の推進</li> <li>・EV充電設備の設置等、近隣住民への交通インフラの提供</li> <li>・周辺公園施設との連携・連動性が本施設の認知度・稼働率の向上にも寄与</li> <li>・気軽に子育て世代が立ち寄り、利用しやすいように施設全体の改修を行うとともに、地域と連携した事業を計画することで、街のにぎわい、活性化を進めることが可能</li> <li>・近隣エリアの駅周辺駐車場を活用したパーク&amp;バスライド</li> </ul>
<p>事業手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFIのRO方式（1者）</li> <li>・設計・施工・運営一括型（DBO）方式、もしくは、PFIのRO方式（1者）</li> <li>・従来発注、PFIいずれでも可（1者）</li> <li>・運営維持管理の方向性、整備内容が定まった後、公民連携手法に準じたDB方式での発注（1者）</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナの床化や大型映像装置の設置に加え、観客収容人数を大幅に向上させる改修を行うことで、今後の地域のにぎわい創出にも大きく寄与することができる</li> </ul>